

1. 今から3000年ほど昔、イスラエルにサムエルくんという少年がいました。サムエルくんは神殿に住んで、エリ先生のもとで訓練を受けていました。それは、神様におつかえするための訓練です。

2. ある夜のことで、サムエルくんが寝ていると、何やら声がするではありませんか。

「サムエル・・・、サムエル・・・」と、その声はサムエルくんを呼ぶ声です。

3. (眠たそうに読む)

**サムエル**「はい、エリ先生。何かご用ですかあ～。」

**エリ先生**「なんじゃサムエルう～、わしや呼んではおらんぞお～」

**サムエル**「おかしいなあ～、確かに声が聞こえたんだけどお～」

**エリ先生**「いいから寝なさい。わしも眠くて仕方ないわ・・・」

4. そしてサムエルくんが眠りにつくと、またあの声が聞こえてくるではありませんか。

「サムエル・・・、サムエル・・・」と、その声はサムエルくんを呼んでいます。

5. (眠たそうに読む)

**サムエル**「あのお～エリ先生、何かご用ですかあ～。」

**エリ先生**「サムエル、いいかげんにせんか。わしは呼んでおらんと言うておるではないか」

**サムエル**「だって、ボクを呼ぶ声がしましたよお～」

**エリ先生**「いいから戻って寝なさい。お前は寝ぼけているのじゃ。わしは眠くてかなわんわ。」

6. サムエルくんが部屋に戻ってヨダレをたらして寝ていると、またまたあの声です！

「サムエル・・・、サムエル・・・」と、本当にサムエルくんを呼ぶ声がするのです。

7. **サムエル**「エリ先生、ボクは寝ぼけてなんかいません。こんなに目はバッチリ覚めています。何かご用ですか？ ボクを呼んだでしょう？」

するとエリ先生は・・・

8. **エリ先生**「いいかげんにせんかあ～！ わしは呼んでおらんとやっているではないかあ！！ わしの目もすっかり覚めてしまったわ。どうしてくれるんじゃ！ ああ？ どうしてくれるんじゃっ！！」

・・・と言いたかったかも知れないけど、エリ先生はそんなことを言いませんでした。

9. 「しもべは聞きます。お話しください」 Iサムエル3：10

**エリ先生**「サムエルよ、今度その声がしたら、このように答えるのじゃぞ。その声はな、神様がお前を呼んでおられる声なのじゃ。だから、神様の声をしっかりお聞きして、従うのじゃよ。」

10. こうしてサムエルくんは、神様の声を聞きました。そして、神様に従う少年として成長しました。

サムエルくんは大人になって、神様のために一生懸命に働きました。そしてイスラエルの国にとって、とても大切な役目を果たすことになるのです。

私たちは聖書をとおして、神様の声をお聞きすることができますよ。心を開いて、素直に聖書のことばに耳を傾けましょうね。